

文部科学省『がんプロフェッショナル養成プラン』採択プログラム
北東北における総合的がん専門医療人の養成



第5回 北東北がんプロフェッショナル養成プラン
FDワークショップ

市民と医療人のための公開シンポジウム

『がん治療』の 未来を語る

プログラム

日時

平成23年

2月5日(土) 18時~20時

会場

秋田ビューホテル4階 [飛翔の間]

『がん治療』の未来を語る

市民と医療人のための公開シンポジウム

第5回 北東北がんプロフェッショナル養成プランFDワークショップ

細谷亮太先生と中村祐輔先生から がん治療の未来を学ぶ

今回で5回目の北東北がんプロフェッショナル養成プランのFDワークショップを開催させていただきます。今回もがん診療に携わっておられる医療関係者、また今後がん診療に従事したいと考えている学生などの方々だけでなく、広く、一般市民の方にも是非、御参加いただきたい講演を企画しました。

細谷亮太先生は小児がんの実地診療での第一人者として活躍されておられます。小児がんは成人のがんに比べて罹患者数が少ないこともあって、まだまだ一般社会の注目度は十分でないと感じます。小児がんの子供たちやその御家族への対応において医療現場やそれを取り巻く環境には改善すべき点が山積しています。細谷亮太先生は『医者が泣くということ』、『小児病棟の四季』『今、伝えたい「いのちの言葉」』『優しさはどこから』など多くの著作を手がけておられます。先生の御講演は小児がんに限らず全てのがん診療に携わる方々や今後の担い手にも心響くものであることを確信しています。

中村祐輔先生は、現在世界レベルでがん研究の第一人者として活躍されています。中村祐輔先生は医学部卒業後、外科医としてがん患者さんを診ておられました。その後、基礎系研究者に転身され、世界中のがん科学者が認める功績を納められてきました。米国でのがん抑制遺伝子の研究を経て、帰国後もがんの分子遺伝学、分子生物学での第一線のご活躍から、最近ではがんのペプチドワクチン療法でも世界をリードしようとされています。個人的にはありますが、私が研究をはじめたころ、中村祐輔先生の“がん抑制遺伝子hunting”に対する情熱と成果に深く感動したことを覚えています。先生の“臨床に立脚した患者のための医学研究”の真髓と心(heart)、そして未来のがん治療への展望を学ぶことができると期待しています。

お二人のご講演を心から楽しみにしています。

北東北がんプロフェッショナル養成プラン 実務委員長
秋田大学大学院医学系研究科腎泌尿器科学講座 教授 羽瀨 友則

【担当大学】

秋田大学大学院医学系研究科
弘前大学大学院医学研究科
岩手医科大学大学院医学研究科
岩手県立大学大学院看護学研究科

プログラム

司 会：羽瀨 友則氏（北東北がんプロフェッショナル養成プラン実務委員長、
秋田大学大学院医学系研究科腎泌尿器科学講座 教授）

開会の挨拶：本橋 豊氏（秋田大学大学院医学系研究科長）

1 18:00~19:00

座 長：渡辺 新氏（社会医療法人明和会 中通総合病院 小児科統括科長）

『子どもを一人の人間として支える —小児がんのトータルケアの見地から—』



細谷 亮太氏

（聖路加国際病院副院長 小児総合医療センター長）

細谷亮太（ほそやりょうた）氏のプロフィール

1948年、山形県生まれ。
72年、東北大学医学部卒業、聖路加国際病院小児科勤務。
78~80年、テキサス大学MDアンダーソン病院癌研究所に臨床フェローとして勤務。
80年、聖路加国際病院に復職し、94年小児科部長、2003年副院長、2005年小児総合医療センター長（併任）
専門は小児血液・腫瘍学、小児保健など。
俳人（俳号は曉々）としても活躍するほか、エッセイやコラムを多数執筆。

2 19:00~20:00

座 長：柴田 浩行氏（秋田大学大学院医学系研究科臨床腫瘍学講座 教授）

『がんペプチドワクチン療法の現状と未来』



中村 祐輔氏

（東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター長
ゲノムシーケンス解析分野 教授）

中村祐輔（なかむらゆうすけ）氏のプロフィール

1952年大阪府生まれ。
77年大阪大学医学部卒業。同附属病院（第2外科）を経て、81年同附属分子遺伝学教室研究生。
84年米国ユタ大学ハワード・ヒューズ医学研究所研究員。87年米国ユタ大学人類遺伝学教室助教授。
89年癌研究会癌研究所生化学部部長。94年東京大学医科学研究所分子病態研究施設教授を経て、
95年からヒトゲノム解析センター長。2005~10年理化学研究所ゲノム医科学研究センター長（併任）を経て、
10年同センター特別顧問、国立がん研究センター研究所長。

20:10~ 懇親会

